



今後は自然体での人生を



学校薬剤師制度50周年記念
 文部科学大臣表彰を受賞した
 熊谷 壯一郎 さん(中央町・69歳)

薬剤師の熊谷壯一郎さんが、このほど学校薬剤師制度五十周年記念文部科学大臣表彰を受賞しました。昭和三十七年から現在まで、幼稚園から高校までの学校薬剤師として、学校の環境衛生の向上に取り組みほか、四十年から県学校薬剤師会の幹事や宮古支部長、副会長を歴任。五十四年から現在まで宮古薬剤師会会長を務め

るなど、薬事関係事業の発展向上に貢献し、その功績が高く評価されたものです。

親の仕事を継ぐと薬剤師を志した熊谷さんは、東京の薬局に就職した後、昭和三十四年に郷里に戻り宮古保健所の薬剤師として勤務。「保健所業務として宮古・下閉伊管内の学校を巡回しましたが、環境衛生基準に達していない所がたくさんありました」と当時の状況について話します。三十七年には家業に就き、管内の約三十人の薬剤師と共に県学校薬剤師会宮古支部を設立させました。

学校薬剤師の業務について「以前より学校に行く頻

度は少なくなつたものの、基準が常に変わるので、学校職員や養護教諭と密接に連絡を取り合わなければなりません」と強調する熊谷さん。現在、家業の処方せんの調剤や医薬品の販売のほか、町学校保健会副会長や町青少年問題協議会副会長を務めるなど忙しい毎日です。「来年には古希を迎えます。今後はゆつくりと次なる人生を思い浮かべながら、頑張らずに健康の限り自然体で過ごしたい」と温和な笑みがこぼれます。

県高等学校選抜剣道大会 山田高男子が初優勝



前列左から佐藤剛、湊貴之、湊紘一、杉本晃宣、後列左から深田耕治監督、高橋知義、武藤聖英、沼崎繁

第三十六回県高等学校選抜剣道大会で、山田高校剣道部男子が初優勝を飾りました。

大会は五月十五日に盛岡市の県営武道館で開かれ、昨秋の県新人大会上位校など十六校が参加し、団体の勝ち抜き戦が行われました。

初戦で黒沢尻北高を二人残しで下した山田高校は、続く準々決勝でも盛岡北高を二人残しで破り、準決勝へ進出。準決勝では、県新人大会の覇者である盛岡南高に一人残しで競り勝ち、決勝へとこまを進めました。

決勝の相手は強豪の花巻北高。

山田高の先鋒・佐藤剛選手が2勝1分けと活躍するなど大将に番を回さず、一人残しで接戦を制しました。

佐藤剛主将は、「みんなの力で優勝することができ、自信がつかれました。これからも全員でつないでいく試合展開で上位を狙いたいです」と今後の活躍を誓っていました。

個人賞では杉本晃宣選手が優秀選手賞に輝いています。

◇出場選手 佐藤剛、湊貴之、湊紘一、杉本晃宣、高橋知義、武藤聖英(以上三年)、沼崎繁(二年)
 〈敬称略〉